

2,023 5月19日

朝日カルチャー 野外の自然観察  
宗像市 許斐山 「新緑の宗像路を歩く」

雨が心配されたが、集合時間には何とか止んでいた。駐車場上の公園をぬけるまでにホオノキの花を眺め、つぼみがたくさんついているヘラノキを、目の前で手にとって観察し、セキショウ、ヒイラギナンテン、イヌツゲ、イヌシデなども見ることができた。その先、ボタンクサギの臭い、ミカンの花が香り、ソシンロウバイの摩訶不思議な実にも出会う。登山口では、シランにイジユを、さらにオカメザサ、コンテリクラマゴケ、カテン



ソウなどを観察しながら進む。許斐神社（六の宮）では、イチイガシ、チシャノキ、タラノキ、ミミズバイ（実も）、カラスビシャクなどを観察。登山道に戻り、ヤブムラサキ、クマノミズキ、クサノオウ、イワガネ、キミズ、を見ながら歩き、モウソウチクの終わるところで休憩。ここから先は、階段状の上りが頂上まで続くので、ひたすら修行に励んでもらう。

ハナミョウガの花に励まされながら、熊野宮（嘉平杉、三尊石）までたどり着けば頂上はすぐそこ。12時には何とか全員登り切った（許斐山271m）。宗像の四塚連山、地島までの眺望を楽しみながら昼食。



頂上では、ナラガシワ、ニガキ、モミ、ギンリョウソウ、タツナミソウ、ウツギ（花）、マユミなどを観察。

帰りはのぼりとは異なる《楽々コース》を1時間かけて下る（登りもこっちが良かったという声も）。広い道に出たところで、ホタルブクロの白い花やクサイチゴ摘みを楽しんだ。

やはり、登りはきつかったようだが、落伍者も出ず、歩き終えた顔は皆、晴れ晴れとして見えた。

（スタッフ：常藤、久保田）

